

薬局薬剤師の感染防止対策に関するアンケート調査報告

○佐藤洋平¹⁾ 2)、岩崎七緒³⁾、井口美紀³⁾、椎木康之¹⁾ 4)、白野陽正³⁾
一般社団法人防府薬剤師会¹⁾ 佐波薬局²⁾
徳島文理大学薬学部³⁾ 防府栄町薬局⁴⁾

【目的】

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界各地に拡大して以降、感染防止対策の重要性は増してきている。病院においては、感染制御チーム(ICT)による感染防止対策が行われている。薬局においては、特に COVID-19 のパンデミック後は、様々な感染防止対策が取られているが、ICT などの感染制御の専門組織は存在せず、薬局での感染防止対策の状況は十分に把握されていない。そこで、山口県防府市の薬局薬剤師にアンケート調査を行い、感染防止対策の現状と課題、薬局薬剤師の感染防止対策に関する意識等について調査したので報告する。

【方法】

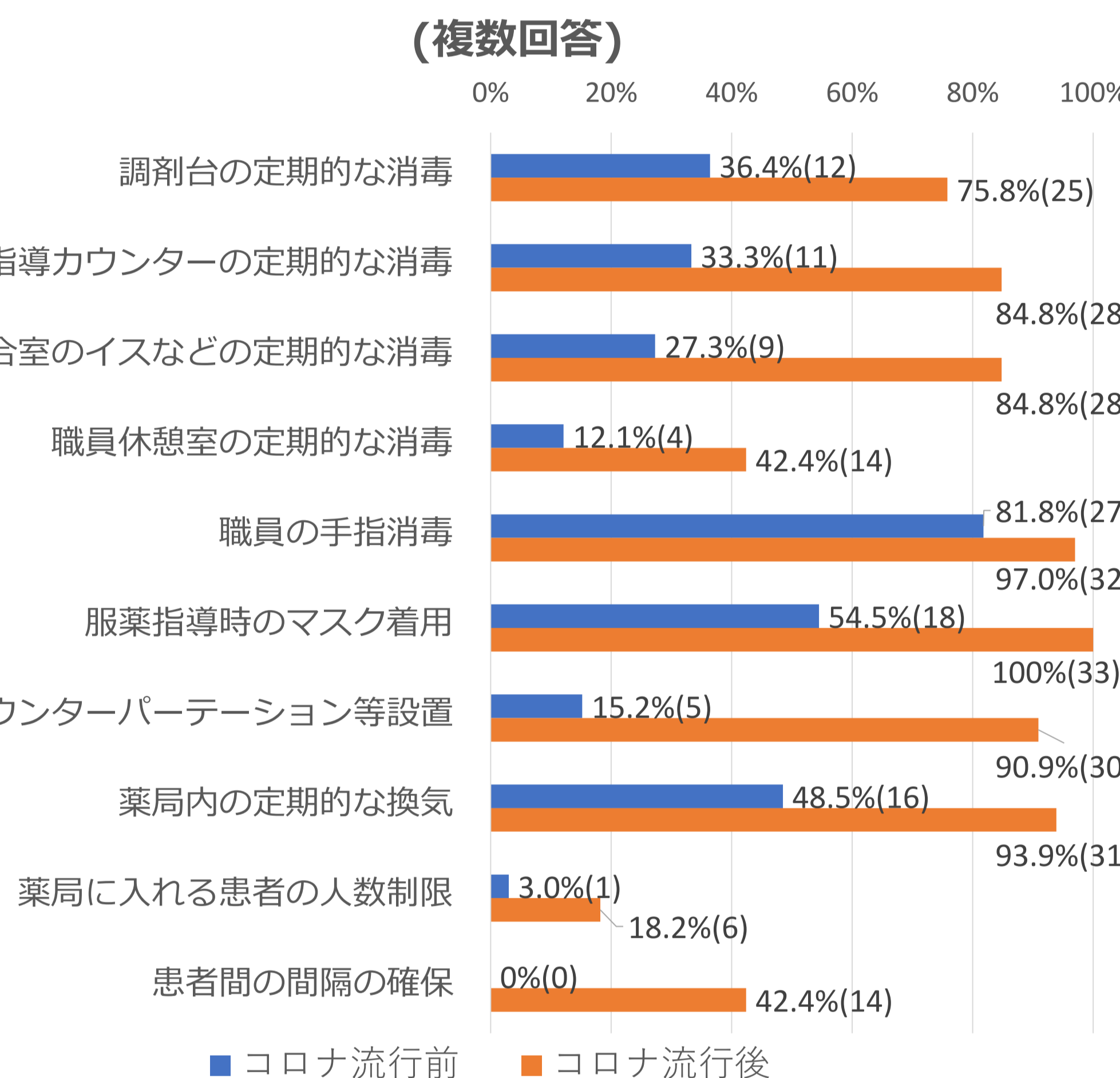
対象：山口県防府市内の全調剤薬局（49薬局）回答者は1薬局に対し1名の薬剤師。
調査期間：2024年3月から4月。
調査方法：アンケートをメールで依頼、Google Formでの入力で回答

- 問1：働いている薬剤師の人数を教えてください。
- 問2：1日の平均処方箋枚数を教えてください。
- 問3：あなたの年代を教えてください。
1つだけマークしてください。
20代 30代 40代 50代 60代
- 問4：主に受け付けている処方箋の種類はどれですか？
1つ選んでください。1つだけマークしてください。
総合病院 内科消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・神経内科・血液内科・腎臓内科・その他
小児科 皮膚科 精神科 外科 整形外科 産婦人科 眼科 泌尿器科 形成外科 その他
- 問5：新型コロナウイルス感染症流行前の感染防止対策で、実施していたものを教えてください(複数回答可)。
当てはまるものすべてを選択してください。
調剤台の定期的な消毒 服薬指導カウンターの定期的な消毒 待合室のイスなどの定期的な消毒 職員休憩室の定期的な消毒 職員の手指消毒 服薬指導時のマスク着用 服薬指導カウンターのアルコール板やパーテーション等の設置 薬局に入れる患者の人数制限 患者間の間隔の確保 その他
- 問6：新型コロナウイルス感染症流行後で始めた感染防止対策で、実施しているものを教えてください。(複数回答可)。
当てはまるものすべてを選択してください。
調剤台の定期的な消毒 服薬指導カウンターの定期的な消毒 待合室のイスなどの定期的な消毒 職員休憩室の定期的な消毒 職員の手指消毒 服薬指導時のマスク着用 服薬指導カウンターのアルコール板やパーテーション等の設置 薬局に入れる患者の人数制限 患者間の間隔の確保 その他
- 問7：5類移行後、現在までに緩和もしくは中止した感染防止対策を教えてください。(複数回答可)。
当てはまるものすべてを選択してください。
調剤台の定期的な消毒 服薬指導カウンターの定期的な消毒 待合室のイスなどの定期的な消毒 職員休憩室の定期的な消毒 職員の手指消毒 服薬指導時のマスク着用 服薬指導カウンターのアルコール板やパーテーション等の設置 薬局に入れる患者の人数制限 患者間の間隔の確保 その他
- 問8：調剤台・服薬指導カウンターなどの清掃について(現在の状況)。
問8-1：その清掃頻度はどのくらいですか。近いものを選ぶ。
1つだけマークしてください。
1日数回 1日1回 毎日ではないが週に何回か 汚れた時に行う(毎日ではない) その他
- 問9：現時点での手洗い・手指消毒のタイミングで、行っている方を教えてください(複数回答可)。
当てはまるものすべてを選択してください。
終業時 調剤時 接客時 接客後 食事(休憩)前 食事(休憩)後 その他
- 問10：現時点での貴社薬局での感染防止対策は十分だと思いますか。1つ選んでください。
十分 やや足りない 足りない 分からない
- 問11：現時点での貴社薬局での感染防止対策の研修は十分だと思いますか。1つ選んでください。
十分 やや足りない 足りない 分からない
- 問12：現時点での薬局における感染防止対策に関する知識・技能は十分だと思いますか。1つ選んでください。
十分 やや足りない 足りない 分からない
- 問13：現時点での在宅訪問時の感染防止対策の知識は十分だと思いますか。1つ選んでください。
十分 やや足りない 足りない 分からない
- 問14：新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、薬局での感染防止対策は必要だと思いますか(複数回答可)。
当てはまるものすべてを選択してください。
引き続き、5類移行前と同様の感染防止対策が必要である 感染リスクの高い患者への対応については、5類移行前と同様の感染防止対策が必要である 必要だが、緩和した良い項目も存在する 必要だが、いつまで継続すればいいのかわからない 不必要 その他
- 問15：感染防止対策について薬局薬剤師がどのように取り組むべきか、お考えがあれば記入してください。

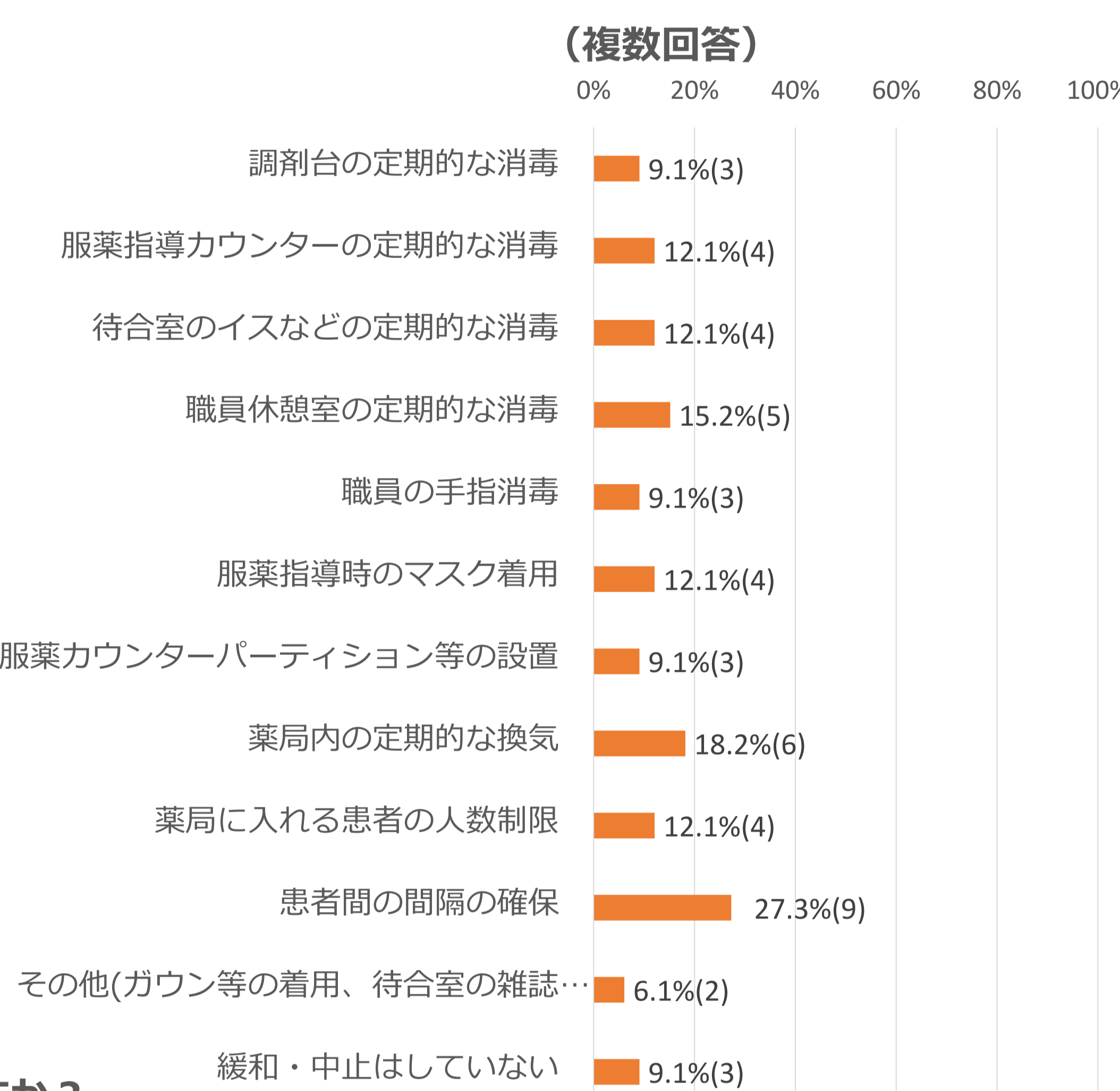
【結果】

| 回収率 | 67.30% | (33名/49薬局) |
|--------------|--------|--------------|
| 働いている薬剤師の人数 | 4人 | 10薬局 (30.3%) |
| 1日の平均処方箋枚数 | 50~74枚 | 14薬局 (42.4%) |
| 薬剤師の主な年代 | 40代 | 13名 (39.4%) |
| 主に受け付けている診療科 | 内科 | 14薬局 (42.4%) |

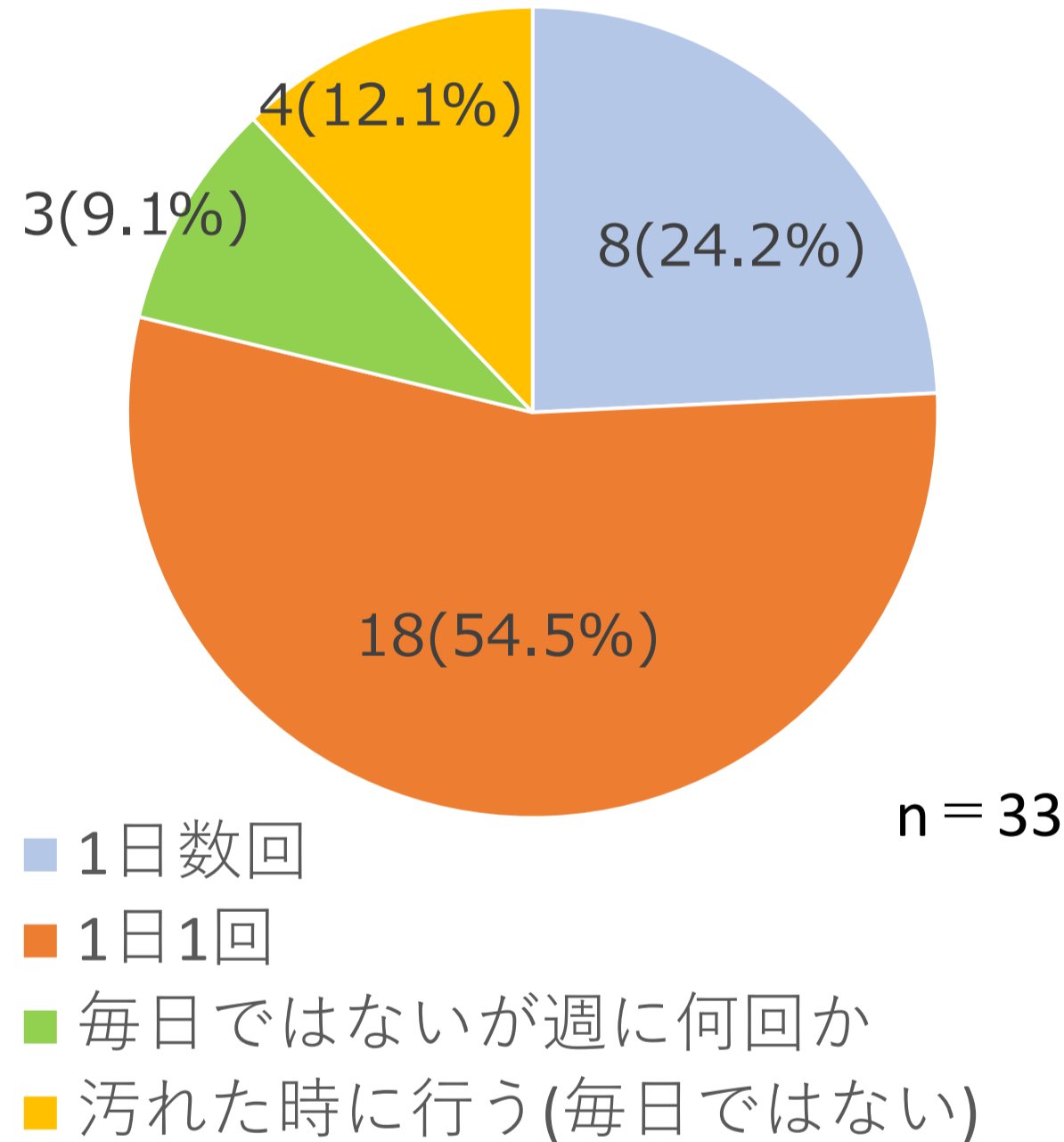
新型コロナウイルス感染症流行前後で行っていた対策



5類移行後、緩和・中止した感染防止対策



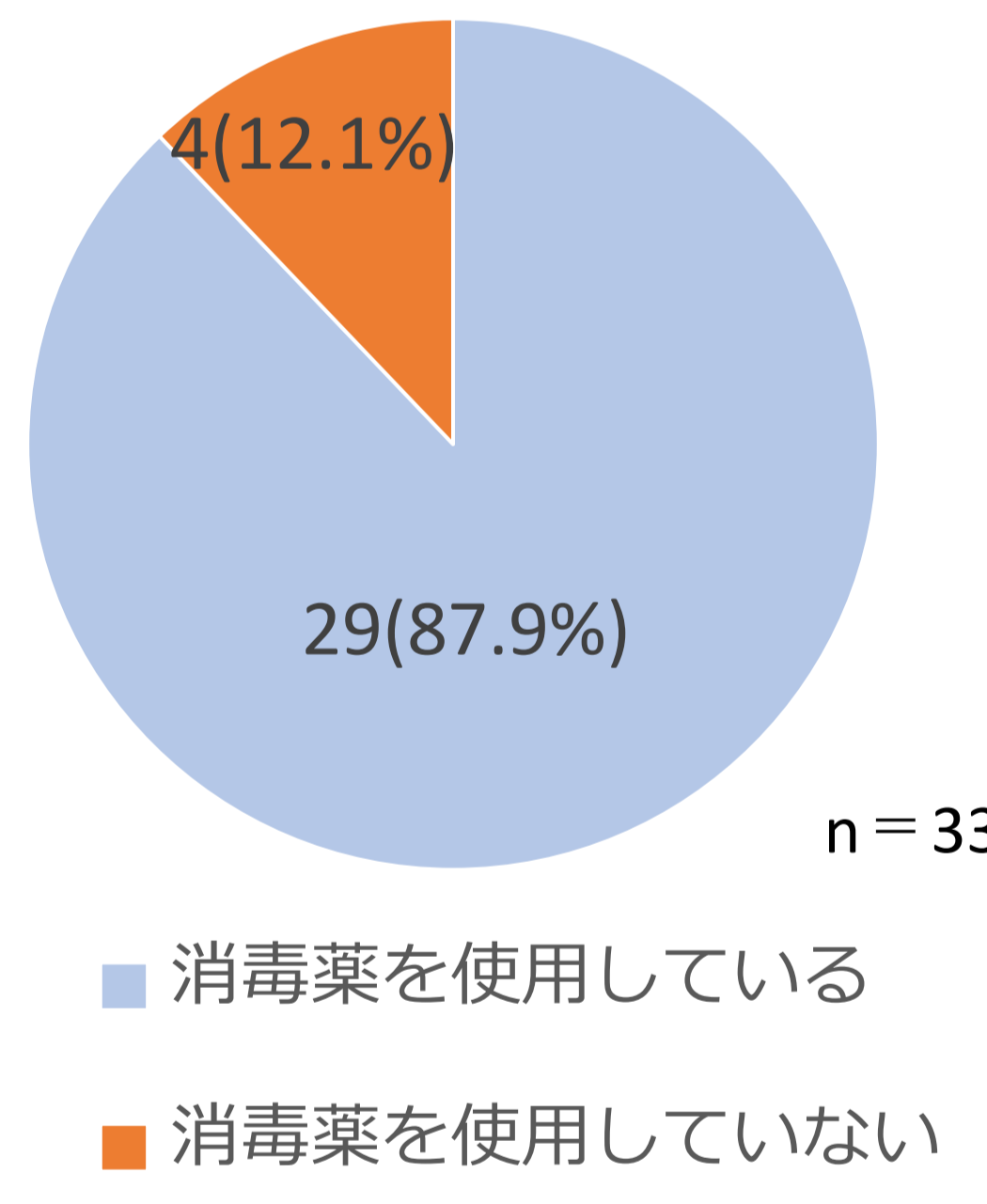
調剤台・服薬指導カウンターの清掃頻度



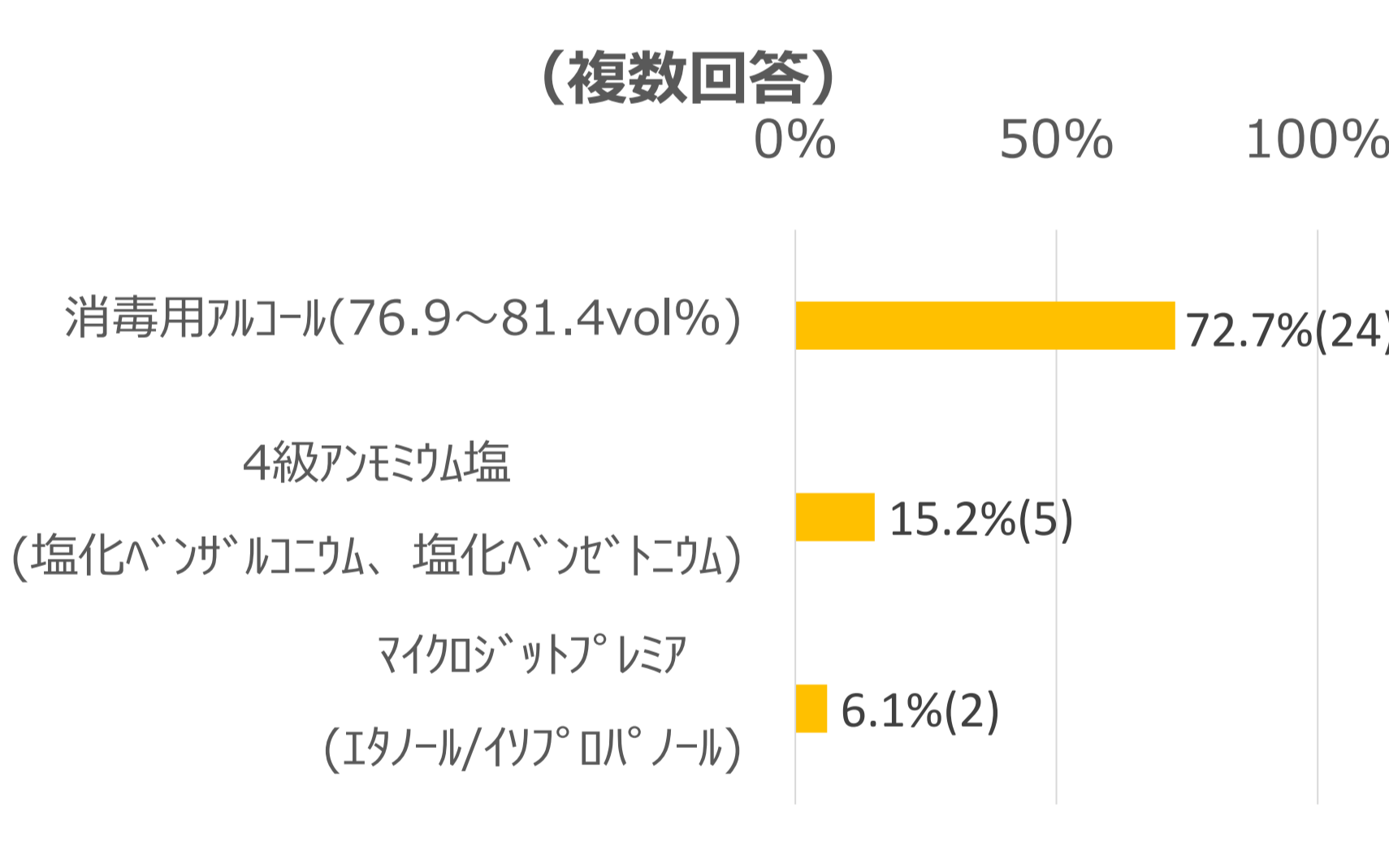
薬局内で清掃を行っている箇所 (複数回答)

| 箇所 | 割合 (%) |
|---------------------|--------|
| 調剤台 | 69.7% |
| 服薬指導カウンター | 90.9% |
| 患者の触れるドアノブや手すり | 48.5% |
| 待合室のイスやテーブル | 69.7% |
| 職員休憩室の机 | 27.3% |
| タッチパネルなどの電子機器やキーボード | 39.4% |

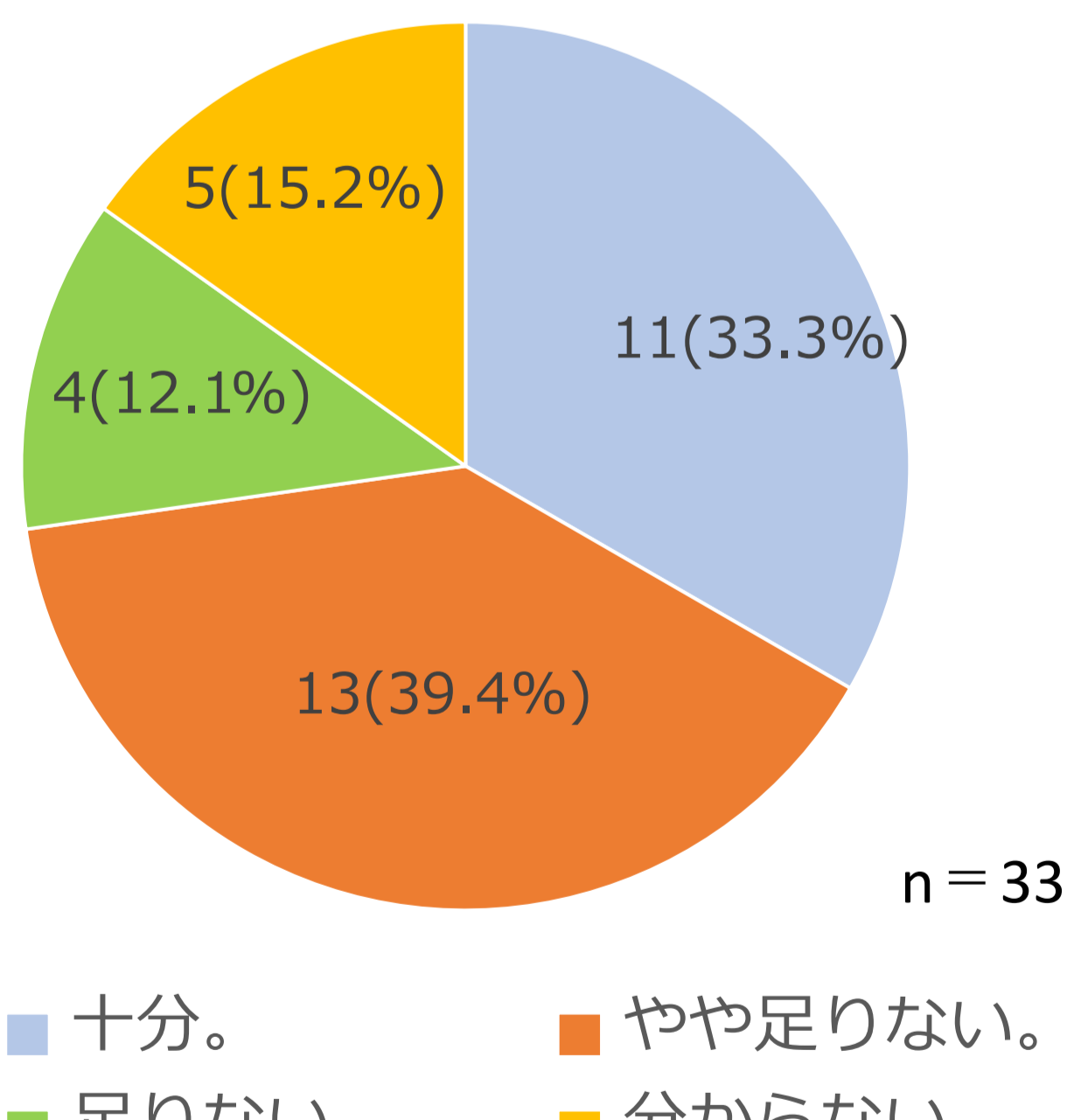
清掃時に消毒薬を使用しますか？



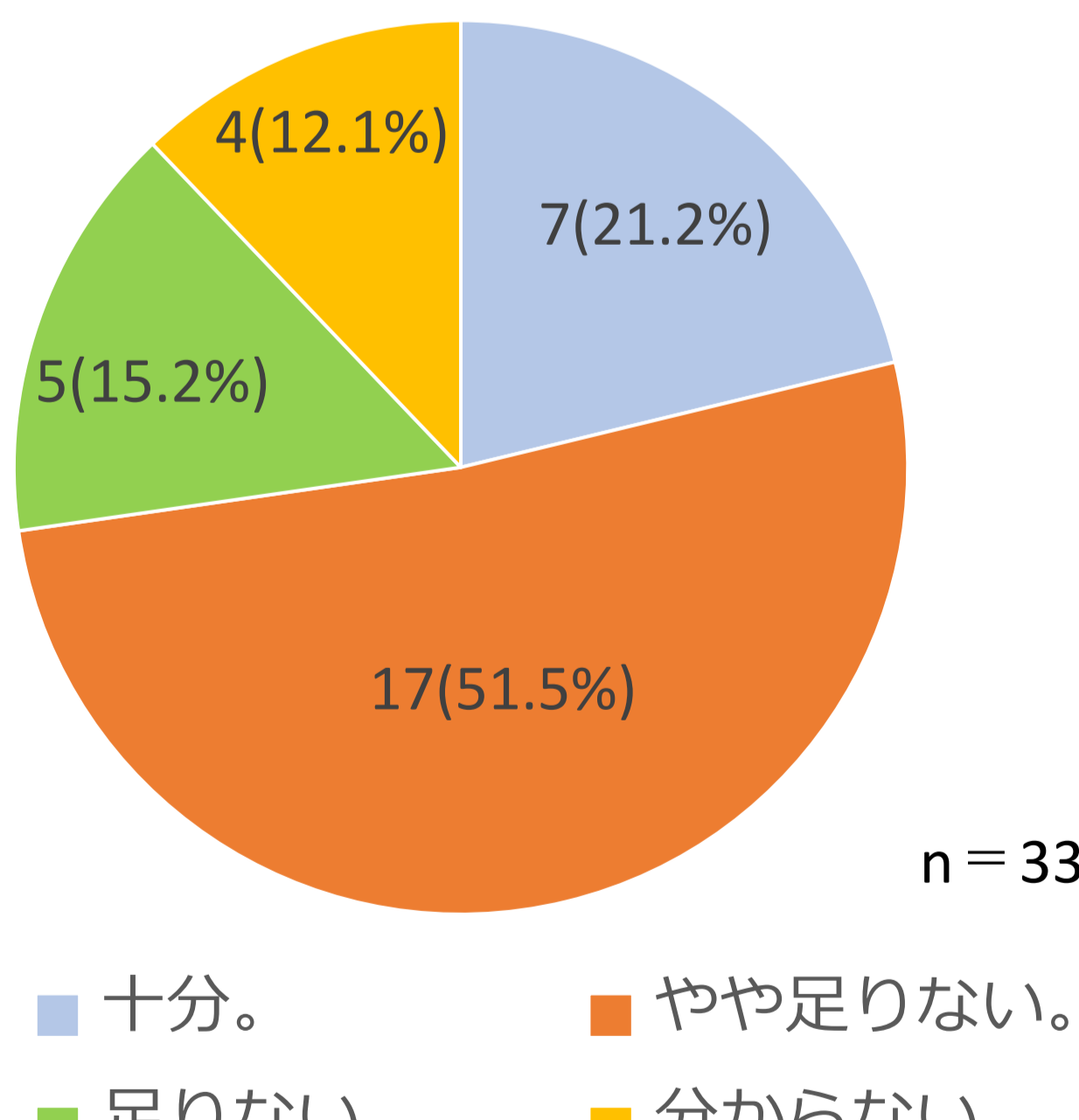
清掃に使用している消毒薬の種類 (複数回答)



貴社薬局での感染防止対策は？



薬局における感染防止対策の知識・技能は？



- COVID-19前後の感染防止対策では「服薬指導カウンターの定期的な消毒」や「服薬カウンターパーテーション等設置」が大きく増加した。
- 5類移行後、「患者間の間隔の確保」27.3%(9/33名)や「薬局内の定期的な換気」18.2%(6/33名)を緩和する薬局が多くみられた。
- 調剤台・服薬指導カウンターなどの清掃頻度は「1日1回」が54.5%(18/33名)であった。清掃を行っている箇所は「服薬指導カウンター」が最も高く90.9%(30/33名)であった。
- 清掃を行う際に「消毒薬を使用している」との回答は87.9%(29/33名)であった。また使用しているアルコールは消毒用エタノール(76.9~81.4vol%)が72.7%(24/33名)と最も多かった。
- 現時点での薬局における感染防止対策に関する知識・技能は「足りない」が15.2%(5/33名)、「やや足りない」が51.5%(17/33名)であった。

【考察】

- COVID-19流行後感染防止対策は強化され、5類移行後に一部緩和・中止された対策もあるが、アルコール消毒等の感染防止対策は、流行以前に比べ多くの薬局で継続して行われている。
- 現時点での感染防止対策やその研修、知識・技能については「足りない」や「やや足りない」との回答が多かったことから、薬局における感染防止対策は不十分な状況であると思われる。
- 令和6年度の調剤報酬改定において、感染症対応に係る研修等が連携強化加算の算定要件になっている。このことから、地域の病院ICTとの連携や薬剤師会での勉強会・研修を通して、薬局においても感染防止対策の知識等の向上、今後を見据えた平時からの感染防止対策を薬局業務に定着させていくことが必要であると考えられる。

第83回九州山口薬学大会 利益相反の開示

筆頭演者名： 佐藤洋平

私は今回の演題に関連して、開示すべき利益相反はありません。